

科目名	成人看護学概論		時期		時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	後期	30時間	2単位
科目設定理由	現代の経済的・環境的变化は目まぐるしく、成人期にある対象の健康問題も複雑化・多様化している。この急速に変化する社会において、「成人」である大人を包括的に理解するためには、対象の生活や健康に関する最新の動向を多角的に捉える視点を持つと共に、成人が健康で安全な生活を維持・促進していくための、保健・医療・福祉システムの連携の重要性を理解する必要がある。そこで、成人期にある対象の特徴と生活、多様な健康レベルや状況における健康問題を抱えた患者の心理と行動を理解しすることで成人への看護アプローチおよび実践的な理論と支援方法を講義や演習を通して学ぶことを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	1 成人の特徴と生活、健康問題を理解する 2 成人への看護アプローチの基本を理解する 3 成人の健康レベルや状況に対応した看護を理解する 4 成人の健康生活を促すための実践的な理論と支援方法を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1～5	成人の生活と健康	1 成人と生活 (1) 対象の理解 (2) 対象の生活 2 成人をとりまく環境と生活からみた健康 3 生活行動がもたらす健康問題とその予防 4 生活と健康をまもりはぐくむシステム 5 ヘルスプロモーションと看護				講義・演習
6～9	成人への看護アプローチの基本	1 大人の健康行動と行動変容 (1) 大人の学習 (2) 行動変容 (2) エンパワメント 2 症状マネジメント 3 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 4 集団へのアプローチ 5 チームアプローチ 5 看護におけるマネジメント 6 看護実践における倫理的判断 7 意思決定支援と家族支援				講義
10～14	成人の健康レベルや状態に対応した看護	1 健康バランスに影響を及ぼす要因と看護 (1) ライフスタイル (2) ストレス 2 健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護 (1) 手術療法 (2) 薬物療法 (3) 放射線療法 (4) 危機 3 慢性病とともに生きる人を支える看護 (1) 自己概念 (2) 病みの軌跡 (3) セルフケア (4) 生活の再構築 4 障害がある人の生活とリハビリテーション 5 人生の最期のときを支える看護 (1) 全人的苦痛 (2) アドバンスケアプランニング 6 継続的な移行支援 (1) 療養の場の移行 7 新たな治療法、先端医療と看護				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1] 成人看護学総論		小松 浩子 他		医学書院	
	国民衛生の動向				厚生統計協会	
	生活習慣病のしおり				社会保険出版社	
	看護実践に活かす中範囲理論		野川 道子 他		メヂカルフレンド社	
参考図書・資料等	看護のための人間発達学		舟島なをみ 他		医学書院	
評価方法	筆記試験、演習への取り組み・課題レポート・出席状況などから総合的に評価する					